

さいとう淳一郎の日々の街頭演説を、紙上でお伝えしています。

次の世代のために…

“子どもや孫たちが帰ってくるまちづくり”を目指して
栃木県議会議員

さいとう淳一郎街頭演説レター

第 8 号

発行日 平成 23 年 12 月 1 日

発行者 栃木県議会議員

さいとう淳一郎

〒329-2136 矢板市東町 3006-3

矢板北 P A に、高速道路のスマート I C を設置します！

現在、全国各地で高速道路の S A (サービスエリア) や P A (パーキングエリア) を活用した E T C 専用のインターチェンジ=スマートインターチェンジ (I C) が設置されています。栃木県内でも上河内 P A と那須高原 S A の 2 カ所に加えて、今年の 4 月からは佐野市にある佐野 S A でもこのスマート I C が設置されています。

そこで矢板市でも県内の 2 カ所に先を越されてしまいましたが、『さいとう淳一郎』は、インターチェンジ間の距離が栃木県内で最も長い矢板と西那須野塩原 I C との間にある矢板北 P A (下太田・長井) にスマート I C を設置することを提案します。

矢板市内には片岡地区に矢板 I C がありますが、泉地区の方にとって、これまで東北自動車道は、単に「通り過ぎる道」「利用できない道」でした。しかし矢板北 P A にスマート I C が設置されることで、東北自動車道は「気軽に利用できる道」になりますし、東北自動車道の利用者にとっても、泉地区は「気軽に立ち寄れる地域」に大きく変化します。

『さいとう淳一郎』は、このスマート I C の設置を泉地区の経済振興の起爆剤にしていきたいと考えています。そしてスマート I C の設置と合わせて、矢板北 P A を高速道路からだけでなく、一般道からも利用できる“ハイウェイオアシス”とし、泉地区の経済交流の拠点にすることを併せて提案します。

さらに、『さいとう淳一郎』は、東北自動車道の宇都宮 I C 以北の 6 車線化についても、地元の渡辺喜美代議士とがっちりスクラムを組んで、早期着工に向けて努力していきたいと考えています。

【写真】

上河内 S A に設置された上河内スマート I C

